



WORLD FEDERATION OF HEMOPHILIA  
FÉDÉRATION MONDIALE DE L'HÉMOFILIE  
FEDERACIÓN MUNDIAL DE HEMOFILIA

## 凝固因子濃縮製剤による血友病治療のメリット

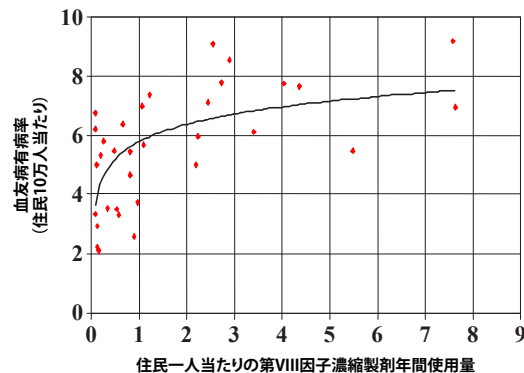
安全で規制を順守している血漿由来凝固因子濃縮製剤で血友病患者を治療することは、患者への出血性疾患による社会経済的影響を直接軽減する投資です。これにより、政府やコミュニティ、家族に要請される長期的支援量も軽減されます。

必要な外科手術の前や、生命を脅かす、または手足を失う危険がある緊急時に安全な製剤を提供することは、たとえ財源が限られている国であっても、ほとんどの国の経済力なら可能なことです。

### 政府や社会への経済的メリット

- 凝固因子濃縮製剤で治療すれば、血友病患者の出血症状は数日以内に回復します。治療しなければ、回復には数週間かかり、完全に回復しないこともあります。また関節に永久的な損傷を受ける場合があります。他の治療用製品は因子製剤ほど高価ではありませんが効果が薄いため、職場や学校を長期欠席し、家族や地域に貢献する能力が低下してしまいます。
- 凝固因子濃縮製剤ではなく、クリオプレシピテート(血液由来製剤)を使う治療は、安全面でリスクがありますが、これはウイルスを不活化する有効な方法が存在しないからです。WFHの調査によると、ベネズエラで20年間クリオプレシピテートによる治療を受けた患者では、HIV感染率が13～18%でした。またC型肝炎感染率は80%以上に及びます。一方、現在製造されている血漿由来の凝固因子濃縮製剤は優れた安全性の記録を示しています。
- 血友病患者が安全でない治療用製剤を通してHIV/AIDSや肝炎に感染すれば、その感染が広がるリスクがあり、感染者の数が増えて、そちらの治療や経済支援が必要となります。
- 治療されていない血友病、HIV/AIDS、肝炎などによる偏見や不健康な状態は、常習的欠勤、組織の分裂混乱、熟練労働者の損失などにつながり、生産性が悪化するので経済活動を弱めます。たとえ臨時雇用であっても新しく人を雇い訓練しなければならず、その経費が増加します。例えば、ボツワナでは2005年までにAIDSの影響で17%の労働力を失い、AIDSの影響がない場合と比較すると、2015年までには2.5%ほど経済成長率が少なくなると言われています。安全で規制を順守した血漿由来凝固因子濃縮製剤は、血友病患者たちのウイルス感染機会を減少させることができます。

患者生存率における第8因子濃縮製剤使用量の影響



◆ = 調査した34か国のうちの1か国

曲線は、第VIII因子濃縮製剤の使用量増加と血友病患者の有病率(生存率)の関係を示しています。左端の急カーブは、住民一人当たりの凝固因子濃縮製剤使用量がたとえ少量(1~2単位)であっても救命効果があることを如実に示しています。

詳細情報につきましては以下の資料をご覧ください。

1. World Federation of Hemophilia. 2004. *Report on the Annual Global Survey 2003*. Montreal: World Federation of Hemophilia.
2. Evatt, BL, and L Robillard. 2000. Establishing haemophilia care in developing countries: using data to overcome the barrier of pessimism. *Haemophilia* 6: 131-134.

For further information please contact the World Federation of Hemophilia  
Tel: +1 (514) 875-7944 • Fax: +1 (514) 875-8916 • E-mail: [wfh@wfh.org](mailto:wfh@wfh.org) • [www.wfh.org](http://www.wfh.org)